

おれがね 小合

題字 菅井松雲
 毎日書道展審査員 講師
 小合書道教室
 発行者/
 小合地域コミュニティ協議会
 発行人/田村由美子
 編集/総務部

地域の人口動態	
平成30年2月末現在	
世帯数	1,230戸
男	1,843名
女	1,947名
人口	3,790名

みんなが集える

小合コミ協づくりを

—平成30年度がスタート—



田村 由美子
 小合地域コミュニティ協議会会長

平成30年度がスタートしました。平成29年度の活動計画も、すべて盛大に実施することができました。

これもひとえに、関係機関をはじめ地域の多くの皆様のご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

「地域の、地域の人による、皆のコミ協」であるべく、各々の活動に対し地域の皆様の助けを借りて取り組んできました。活動後の反省会、地域懇談会の課題提供、アンケートによる貴重なご意見を総括し、地域住民がコミ協に対し何を求めているのか、どんな活動をして欲しいのかを検討してきました。

そして、平成30年度の新たな活動目標を掲げました。▼その1「皆が集える小合コミ協」です。

「子供から高齢者まで、色々な世代の人が活動できるもの」が欲しいと言う強い要望がありました。

確かに、コミ協活動においては、勤労している若い世代や通学している世代は、活動する場がなかなか計画されにくい状態

であります。

しかし、知恵を出し合い、いろいろな世代の人がコミ協に集合し、小合地区全体の交流や世代間交流をすることにより、顔見知りになり地域の輪が広まっていくのではないのでしょうか。そして、いざと言う時の助け合いが強まっています。

今年度は、世代を超えた多くの人がコミセンに集合する行事を計画しております。その時には、ぜひ多くの皆さまの参加を願ひし、ご協力をいただきたいと思っております。

計画については、一代議員総会に終了後、皆様にお知らせしたいと思っております。▼その2 地域間の連携強化です。

コミ協活動において、自治会・町内会、学校、消防団、民生委員その他諸団体との連携が大きな評価となっております。今後更に強く結びつきを増していきたいと思っております。特に「子供の見守り」は、親・家族だけでなく地域全体で見守っていきましょう。

このように、地域の皆様に支えられ、多くの皆様に参加でき

平成30年度代議員総会開催のご案内

春爛漫の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より、当コミュニティ協議会にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、平成30年度代議員総会を下記の予定で開催致します。時節柄ご多用のことと存じますが、何卒ご出席くださいますようお願い申し上げます。

- 1、開催日時
平成30年4月29日(日)
15:00
- 2、開催場所
小合地区コミュニティセンター 大ホール
- 3、議題
(1) 平成29年度事業活動報告・決算報告
(2) 平成30年度事業活動計画案・予算案
(3) その他

小合の交流の場をまぎらして6年

本望良則職員が退職しました。

「平成24年から勤務に入りました。地域の皆様の行事が円滑に進むように心がけてきました。アツという間の6年でした。本当に大過なく勤めてホッとしています」
 小林楨一さん(小戸下組)

こあいの逸品

「紫金牛」の売買の異常流行が始まり、果が取締規則を定め、売買には「鑑札」(木製)を必要とした。
 1892(明治25)〜
 1897(明治30)



小須戸・長井利夫氏所有



ポーチの屋根
天端までふさいだ雪
(30年2月)

安心・安全の構築から趣味、健康づくりまで 多彩なコミ協活動を振りかえる＝各専門部長

小合、愛さつ、運動
地域と子供たちがあいさつを交わして
「安心・安全」を確認します。



はじめての総務部活動

総務部 稲月正樹

私は、昨年度コミ協の総務部の部長として様々な行事や多くの場に参加をさせて頂いた。総務部担当の中心は小合コミ協の広報誌「よらねかね小合」の発行です。題字を一新し発行しました。私自身文章に関する作業が一番得意な分野ではありましたが総務部の皆さんをはじめ多くのご協力をいただき、総務部一丸となり発行する事が出来ました。発行に向けては、小合の先人達の並々ならぬ努力で今の「花の小合」を作り上げた歴史について触れることが出来ました。

担当の第12回「地域懇談会」は新潟市の福祉総務課より「地域福祉について」と題して講演を受けた後にメインテーマの「これからのコミ協に望むこと」についてワークショップ方式で開催されました。前回の地域懇談会の内容を継続する形として進められました。課題や方向が明確になったと思います。実現に向けた取り組みが必要だと感じました。まだまだ多くの行事に参加をしましたが、私自身関心の薄かった小合の歴史や地域で抱える問題点と、多くの要望事項についてもコミ協の取り組みを通じて少し認識できたと思います。何より多くの皆さんと様々な機会においてコミュニケーションが取れたことが一番の成果でありました。

昨年度、多くの行事などに参加して得たことについて微力ではありますが、新年度に生かしていきたいと思っています。

一年で得たもの

福祉厚生部 内藤三春

今、思うこと

文化教養部 藤田みえ子

文化教養部を担当して、一年が経過しました。昨年度は、日頃から健康や趣味などの活動に関心の高い、小合のみなさんに

役立つ事業を考え、実施することを目標に取り組んできました。主な事業として、食の講座やクラフト教室です。食の講座では

組織の中で当福祉厚生部の役割が具体的にわかりませんでした。会長、副会長の指導、また副部長及び部員の協力により当部の事業を乗り越えることが出来ました。一年たって、町内会及び自治会とコミセンの関係がようやくわかるようになりました。

かトク宅配便」の中から「自殺予防を考える」というテーマに取り組みました。小学生から高齢者まで共通した悩みが考えられることを理由として選定しました。

生部の藤野講師より二時間近くにわたり、わかりやすい資料と専門用語を使わない講義を受けました。

この結果を自治会、町内会長と共有し「気づき」「声をかけ」「見守る」ことが地域でできることだと思いました。私達が選んだテーマが地域で少しでも役に立つのではないかと思います。今後微力ではありますが、指導を賜り事業に取り組んで行きたいと思っています。

市からの五種類の花苗は市内どこでも同じ花が植えられているので、小合だけは地域の花にならないかとも思いました。

きないこと、花の名前や植え方育て方などです。花の小合ですから専門家がたくさんおられて、随分教えられました。準備なしに部長に就任してからの多くの反省と経験を活かして地域の安心、安全や住みよい環境づくりに専門部と協力していきたいと思っています。

一年の成果を来年度に向けて

防災環境部 小林禎一

防災環境部の活動は、自主防災訓練とクリーン作戦、花植とコミセン周辺の環境美化です。最も重要な活動は自主防災訓練です。昨年も全国で災害が多発し、避難所が開設されています。他人事ではなく、私達も災害に直面した際、どのように対処するか、日頃の準備が大事になり、その為の大切な訓練であると思います。今年度は悪天候の中、多くの皆様の参加で10月29日に小合地域自主防災訓練を実施する事ができました。

訓練後の反省会では多くの意見が出されました。次回の訓練に反映させなければと思います。車を運転している道沿いに咲く花が目がいきます。小さな花でもです。花は防災とは別に地域の環境を守り、心の安心を作っていくものであると思います。今年度はチューリップや市からのサルビアなどの五種類の花、コルチカムやサフランなどを植えました。植栽に協力して頂いた皆様に感謝します。ただ、

参加いただいた皆様 ありがとうございました。

保健体育部 若月文夫

- 29年度の活動内容
- ▼ソフトバレーボール大会 6月18日 8チーム
- ▼小合コミぶら散歩 7月16日 25名参加
- ▼卓球大会 11月12日 17名参加
- ▼健康ウォーク 11月18日 23名参加
- ▼輪投げ大会 11月10日 110名参加
- ▼フットサル大会 12月10日 9チーム

コミ協が創立20周年記念の特別賞を設けた後、3位から8位までのチーム代表にくじを引いても引きました。その時の当たりくじを引いた方の瞬間最高の笑顔とチームの盛り上がりがあった事です。

平成29年度第12回小合「三協」地域懇談会

2月3日(土)午後1時30分より副会長の阿部さんの司会で開会し、主催者を代表して田村会長より挨拶をいただきました。その後、来賓の新潟市会議員栗原学様、秋葉区社会福祉協議会風間様よりご挨拶をいただいたのちに、今回は新潟市「市政さわやかトーク宅配便」地域福祉について「支え合いのまちづくり」と題して新潟市福祉部福祉総務課の副主査 佐藤祐樹様より約1時間の講演をいただきました。

「地域福祉」とは、それぞれの地域において人びとが安心して暮らせるよう地域住民や公私の福祉関係者がお互いに協力して地域社会の福祉課題解決に取り組む考え方のこと。講演はこのことに基づき新潟市各区の基本理念、目標が紹介されました。私たちの秋葉区は基本理念「人がつながり、共に支えあう、やさしいまち」基本目標は①明るく元気な地域づくり②安全で安心な地域づくり③健康で豊かな地域づくり④相談しやすい体制づくりであります。その他には近年の社会情勢、国の提言などなど途中クイズも入れての有意義な講演でありました。

その後、休憩をはさんで主テーマ「これからのコミ協事業に望むこと」と題して参加者全員で7グループに分かれてグループワークを始めました。40分後にはそれぞれのグループから発表していただきました。サブテーマごとの主な発表内容は以下のとおりです。

▼テーマ1 地域住民の安心、安全(医療、高齢者対策含む)について

- ・高齢者、障がい者の見守り訪問体制を作る
- ・産科医、小児科医の充実を要望する
- ・高齢者が在宅マップをつくる
- ・地域一斉防災放送設備の設置を要望する
- ・地域外から来た人(嫁さんなど・転入者)のフォロー
- ・屋号、空き家マップをつくる
- ・なんでも相談室を開設する
- ・買い物、通院などの福祉タクシー制度をつくる
- ・小合地域のサロンとコミセンを加えて地域を有機的に結合する仕組みをつくる
- ▼テーマ2 少子化対策と子育て、見守りのありかたについて
- ・婚活で出会いの場をつくる

- ・出産手当の増額を要望する
- ・安価な住宅提供を要望する
- ・企業誘致で若者の定着が進むよう要望する
- ・未婚の母を保護する環境づくりを要望する
- ・小児医療の充実を要望する
- ・通学路の除雪に感謝し今後も続けてほしい
- ・愛さつ運動の時の朝立ちにタスキ、ジャンパーなどを支給することを要望する
- ・子育て世代への企画を充実することを要望する

▼テーマ3 コミ協、自治会、町内会に望むこと

- ・全世代を対象にしたイベントをつくる
- ・地域の要望を掘り起こし若者層のイベントをつくる
- ・コミセンにお茶の間をつくる
- ・独居世帯の支援体制を要望する
- ・地域リーダーの養成を図る
- ・健康づくり、用具なども設置することを要望する
- ▼テーマ4 地域振興(農業、産業含む)に対する取り組みについて
- ・花夢里とコミセンでイベントを企画して地域の活性化を図る

る
ふれあい生き生きサロンとコミセンで地域のカフェを連携して有機的につなげる地域の活性化を図る
・コミセンに自動販売機を設置して、コミセン喫茶の事前調

査をする(販売量など)
前年と同じテーマについてのワークショップであり更に問題点や要望事項がより具体的に、そして鮮明になったと思います。今年度は実現に向けて取り組みなければならぬと感じました。

広報誌この一年

秋葉区11コミ協の「広報誌」を閲覧する。「山の手コミ通信」「新津中央コミユニティだより」「広報おぎかわ」「阿賀浦コミ協だより」「会報しんせき」「風知草」「新津東部コミユニティ協議会「会報かなづ」「LINKこすど」「満日コミユニティ」そして「よらねかね小合」である。カラー刷り紙面が圧倒的に多い。当然写真の掲載もおおく視覚に訴える紙面構成となっている。

「題字」では、新津西部コミユニティ推進協議会の「風知草」調べると、イネ科の観葉植物である。題字を一新した本誌「よらねかね小合」も地域性を表現している。

紙面規格は、B4規格の「広報荻川」。それ以外はすべてA4規格にそろっている。本誌の課題は、カラー化・広告掲載・地域振興・カットなどの挿入や特集記事の工夫を展望したい。

本誌の実態を見ると回数や速報体制は不十分だ。事業報告は当然であるがもっと地域内の自治・産業振興・福祉・安全・安心などの分野の動きや、それらに対する問題提起をして行政など関係組織を巻きこみ地域の課題を解決する方向づけも検討したい。

それにはもっと時間とスタッフ・費用も必要である。

地域での広報誌の影響は大きい。これからも内容を吟味し、紙面も工夫して読んで批評してもらえ紙面づくりを心掛けたい。

ちなみに、地元紙。新潟日報は朝刊(統合版)発行部数約44万部、夕刊発行部数約4万部(2017年9月)。朝刊(統合版)は県下普及率約50%。

3月2日の地域版の「小合」地区に伝わる郷土料理のレシピ集」掲載後の当コミ協へ問合せの多さからもわかる。